



文化博物館だより

第 526 号

2018 年 10 月 30 日

今回の博物館だよりは、企画展「発掘された明石の歴史展 明石の近世Ⅱ—出土品が語る城下のくらし—」のご案内について、常設展示室のミニ展示コーナーの展示替えについてお届けします。

11 月 3 日より企画展「発掘された明石の歴史展 明石の近世Ⅱ—出土品が語る城下のくらし—」を開催します！



オランダ
和蘭陀人人形（長寿院）



化粧道具（武家屋敷）



通い徳利（町屋）

今年で 26 回目になる「発掘された明石の歴史展」は、昨年の明石城築城時の姿を取り上げた「明石の近世」に続き、江戸時代後半期の姿を紹介します。天和 2（1682）年に越前大野から松平直明が明石城に入封して以降、幕末までこの越前松平家が代々藩主を務めました。この時期の遺物は瓦や陶磁器をはじめとして、武家屋敷跡や町屋跡から数多く見つかっています。こうした出土品を通して、城下の変遷や人々の暮らしぶりを紹介します。地中からよみがえった明石の歴史をご堪能ください。

＜関連イベントのご案内＞

③講演会 ※要申込み(11月20日(火)必着)※要観覧券
日 時:12月1日(土) 13:30~15:30
「発掘された城下のくらし」 稲原 昭嘉(明石市文化振興課)
「明石藩の台場」丸山 潔氏(元神戸市教育委員会)
定 員:80名
参加費:無料(当日有効の観覧券が必要です)

事前申込みが必要です。(応募者多数の場合は抽選)
往復はがきに、「イベント名、参加者全員の氏名、代表者の郵便番号・住所・電話番号、参加人数」をご記入のうえ下記まで。

〒673-0846 明石市上ノ丸 2 丁目 13 番 1 号 明石市立文化博物館

展示替えしました！常設展示室ミニ展示コーナー



常設展示室のミニ展示コーナーを展示替えしました。お祭りの時期に合わせて「おしやたか舟神事」に使用されている素襖すおうを展示しています。岩屋神社で行われている明石市指定無形民俗文化財の「おしやたか舟神事」は夏の大祭で、海難防止と豊漁を願ってとり行われます。この素襖は「おしやたか舟神事」には欠かせない六人衆と呼ばれる人々が着る衣装です。じっくり見られる良い機会ですので是非ご覧ください。
なお、「発掘された明石の歴史展」に合わせて 11 月初旬には別の展示に替わります。

素襖の展示 ※素襖とは武家装束の一つで、室町時代は庶民も日常に着用したが江戸時代には礼服として着用した。

くらしのうつりかわり展ボランティアを募集します！※12月9日まで

くらしのうつりかわり展のボランティアとは企画展「くらしのうつりかわり展」（毎年 2~3 月に開催）に来館する小学生に対する展示道具の解説や昔遊びを指導するなどの観覧支援を行います。明石の歴史や文化、博物館や多世代との交流に興味・関心のある方のご応募をお待ちしております！

応募方法：①名前（ふりがな）②住所 ③電話番号 ④性別 ⑤年齢 ⑥くらしのうつりかわり展ボランティア希望 をご記入の上、はがき、FAX、メールのいずれかの方法でご応募ください。※12月9日（日）まで（当日消印有効）
〒673-0846 明石市上ノ丸 2 丁目 13 番 1 号 明石市立文化博物館 FAX:078-918-5409 MAIL:otoiwase@akashibunpaku.com

企画展「発掘された明石の歴史展 明石の近世Ⅱ—出土品が語る城下のくらし—」

会期：11月3日（土・祝）～12月9日（日） 月曜日休館
※関西文化の日11月23日（金・祝）・24日（土）は観覧料無料
開館時間：9時30分～18時30分（入館は18時まで）
観覧料：大人 200 円、大高生 150 円、中学生以下無料

おもしろい  たのしい 
来て、見て、発見！

ぶんぱくGO!!

詳しい展示会情報は当館HPをご覧ください。

<http://www.akashibunpaku.com/>

